

平成28年度 教育行政事務執行点検評価結果一覧表

| 施策分類 (評価対象) | 課名 | 事務事業名 | H27評価 | | H28評価 | | 評価理由等 |
|----------------|-------|-------------------|-------|-----|-------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 成果 | 方向性 | 成果 | 方向性 | |
| 学校施設 | 学校教育課 | 1 小学校運営事業 | A | 改善 | A | 継続 | 各学校が目指す特色ある学校運営が行われるよう配慮するとともに、地域への情報発信など開かれた学校づくりを推進する事業展開を推進していく。 |
| | 学校教育課 | 2 小学校管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | 平成28年度に策定した大規模改修も含めた施設整備計画に基づき、教育委員会の管理する施設全体での優先順位を踏まえ対応していくとともに、適切な維持管理を実施していく。 |
| | 学校教育課 | 3 中学校運営事業 | A | 改善 | A | 継続 | 各学校が目指す特色ある学校運営が行われるよう配慮するとともに、地域への情報発信など開かれた学校づくりを推進する事業展開を推進していく。 |
| | 学校教育課 | 4 中学校管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | 平成28年度に策定した大規模改修も含めた施設整備計画に基づき、教育委員会の管理する施設全体での優先順位を踏まえ対応していくとともに、適切な維持管理を実施していく。 |
| | 学校教育課 | 5 東光小学校バックネット取替工事 | | | A | 終了 | 老朽化したバックネットを取り替えることにより、安心安全な教育環境を整備することができた。 |
| | 学校教育課 | 6 教員住宅解体工事 | A | 継続 | A | 継続 | 閉校に伴い老朽化していた教員住宅を解体し、地域の安全確保を図った。今後は改築を含めた集約化を図り、適切な維持管理に努めるとともに、老朽化した住宅の解体を進めていく必要がある。 |
| | 学校教育課 | 7 潮静小学校屋体耐震補強事業 | | | A | 継続 | 耐震基準を満たしていない屋内体育館について、耐震補強の実施設計を行い、翌年度に補強工事を実施することで、安心安全な教育環境を整備するとともに、市内小中学校の全ての耐震化を完了することができる。 |
| | 学校教育課 | 8 教員住宅整備工事 | A | 継続 | A | 継続 | 老朽化した元町教員住宅の屋根改修を実施した。今後は 教員住宅の改築を含め集約化を図り、適切な維持管理に努めていく。 |
| | 学校教育課 | 9 東光小学校整備事業 | A | 継続 | A | 継続 | 老朽化している東光小学校校舎の大規模改修を実施し、安心安全で快適な学校生活を確保することができた。今後は15年を目途に建て替えに向けた適切な維持管理を行う。 |
| | 学校教育課 | 10 小学校LAN環境改善事業 | | | A | 終了 | ICT機器を活用した授業が既に市内全校で行われており、デジタル教材活用推進のニーズは高く、無線LAN環境を改善することで、タブレット等を活用した授業を円滑に進めていくことができる。 |
| 学校教育 | 学校教育課 | 11 嘱託職員配置事業 | A | 改善 | A | 改善 | 事務補助のほか、児童厚生員、通園センター指導員、栄養士等の多種多様な業務を遂行するため、効率的かつ効果的に配置することができたと考えるが、今後も適正な配置か精査しながら進めていく。 |
| | 学校教育課 | 12 臨時職員配置事業 | A | 改善 | A | 改善 | 学校用務員や学校事務、児童厚生員等の多種多様な業務を遂行するため、効率的かつ効果的に配置することができたと考えるが、今後も適正な配置か精査しながら進めていく。 |
| | 学校教育課 | 13 スクールバス運行事業 | A | 継続 | A | 継続 | 閉校に伴う遠距離通学児童の安全確保のため重要な事業であるが、今後の小中学校適正配置計画による学校統合を踏まえ、スクールバスのあり方を含め課題を検証していく。 |
| | 学校教育課 | 14 英語指導助手配置事業 | A | 改善 | A | 改善 | 平成32年度に学習指導要領が全面改訂され、英語の授業や活動が低年齢化となることを見据え、ALTの保育園派遣を実施した。今後は複数体制について検討していく。 |
| | 学校教育課 | 15 小学校教育振興事業 | A | 継続 | A | 継続 | 学校ごとの教育課程や特色ある教育活動を円滑に行うための事業であり、確かな学力と豊かな心を育む学校教育を目指して、都市経営システムに基づいた事業展開を行っていく。 |
| | 学校教育課 | 16 特別支援教育推進事業 | A | 継続 | A | 継続 | 幼保、通園センター等と特別な支援を要する児童生徒への共通理解を図るとともに、高等養護学校や保健師等関係機関との連携を強化し、事業全体の充実に努めていく。 |

| 施策分類 (評価対象) | 課名 | 事務事業名 | H27評価 | | H28評価 | | 評価理由等 | |
|----------------|-------|---------------|-----------------------|-----|-------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 成果 | 方向性 | 成果 | 方向性 | | |
| 学校教育 | 学校教育課 | 17 | 教育扶助事業（小学校） | B | 改善 | B | 改善 | P T A会費について補助を拡大したが、今後も国、道、他市町村の動向の確認を行い適切な支援を行うとともに、補助対象経費の拡大について調査研究を行っていく。 |
| | 学校教育課 | 18 | 中学校教育振興事業 | A | 継続 | A | 継続 | 学校ごとの教育課程や特色ある教育活動を円滑に行うための事業であり、確かな学力と豊かな心を育む学校教育を目指して、都市経営システムに基づいた事業展開を行っていく。 |
| | 学校教育課 | 19 | 教育扶助事業（中学校） | B | 改善 | B | 改善 | P T A会費について補助を拡大したが、今後も国、道、他市町村の動向の確認を行い適切な支援を行うとともに、補助対象経費の拡大について調査研究を行っていく。 |
| | 学校教育課 | 20 | 学校保健事業 | A | 改善 | A | 継続 | 児童生徒及び教職員の健康保持のため、健康診断を行っているが、今後は「健康都市るもい」ならではの健康づくりを進めていく必要がある。 |
| | 学校教育課 | 21 | 教師用指導書購入費 | A | 終了 | A | 終了 | 教科書改訂により指導に支障が生じないよう、新学習指導要領に準拠した教師用指導書・教師用教科書を整備し、指導方法の工夫改善によって授業力の向上に繋がった。 |
| | 学校教育課 | 22 | スクールソーシャルワーカー活用調査研究事業 | A | 継続 | A | 継続 | 児童生徒の諸問題は家庭環境に起因するものが多く、学校・家庭・関係機関の連携が重要であるため、スクールソーシャルワーカーの支援や働きかけによる効果が非常に高い。 |
| | 学校教育課 | 23 | スクールガードリーダー配置事業 | A | 継続 | A | 継続 | 児童生徒に対する登下校中の事件事故を未然に防ぐため、定期的な巡回指導を行っている。今後も留萌市通学路安全推進協議会と連携し、合同点検を実施することで安全確保の取組を進めていく。 |
| | 学校教育課 | 24 | 冬期通学費補助金（中学校） | B | 継続 | B | 継続 | 冬期間の通学時の安全確保のために重要な事業であり、今後の小中学校適正配置計画による学校統合を踏まえ、スクールバスのあり方を含め課題を検証していく必要がある。 |
| | 学校教育課 | 25 | 遠距離通学費補助金 | A | 継続 | A | 継続 | 遠距離通学時の安全確保のために重要な事業であるが、今後の小中学校適正配置計画による学校統合を踏まえ、スクールバスのあり方を含め課題を検証していく必要がある。 |
| | 学校教育課 | 26 | 中体連参加費補助金 | B | 改善 | B | 改善 | 平成28年度から補助対象を見直し、全国大会を除外（スポーツ振興基金での対応）することで、予算枠を確保したが、引き続き補助額や経費負担のあり方について検証していく必要がある。 |
| | 学校教育課 | 27 | 子どもの食農教育推進事業 | A | 継続 | A | 継続 | 小学5年生を対象に農業体験学習を実施し、農業と食の大切さを学ぶ事業であり、市の基幹産業である農業への理解を深めるため、今後も関係団体と連携して取り組んでいく。 |
| | 学校教育課 | 28 | デジタル教材活用推進事業（小学校） | A | 継続 | A | 終了 | タブレット等のICT機器を整備することで、わかりやすい授業を実施し、確かな学力の定着を図ることができた。教職員の活用は進んでいるが、児童がICT機器の特性を理解し、安全に使用できることも重要である。 |
| | 学校教育課 | 29 | デジタル教材活用推進事業（中学校） | A | 継続 | A | 終了 | タブレット等のICT機器を整備することで、わかりやすい授業を実施し、確かな学力の定着を図ることができた。教職員の活用は進んでいるが、生徒がICT機器の特性を理解し、安全に使用できることも重要である。 |
| | 学校教育課 | 30 | 小中学校学習補助員配置事業 | A | 改善 | A | 改善 | 新1年生を中心に学習支援や学校生活の支援を実施しており、学校の要望や事業効果も高いことから、中学校2校に1名ずつ増員し、きめ細やかな支援を実施した。 |
| 学校教育課 | 31 | 特別支援教育支援員配置事業 | A | 改善 | A | 継続 | 特別支援学級や通常学級に在籍する発達障がいをもつ児童生徒を中心に学習及び生活支援を実施しており、学校からの要望や事業効果も高いが、支援員を担う人材確保が課題であり、働きやすい雇用条件等検討していく。 | |

| 施策分類 (評価対象) | 課名 | 事務事業名 | H27評価 | | H28評価 | | 評価理由等 |
|----------------|-------|------------------------|-------|-----|-------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 成果 | 方向性 | 成果 | 方向性 | |
| 青少年・健全育成 | 生涯学習課 | 32 P T A 研究大会事業 | A | 継続 | A | 継続 | PTA活動は、家庭教育の推進に重要な役割を担っており、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、家庭・学校・地域・行政が一体となって子どもの問題に取り組むことが大切であり、今後も連携しながら支援を継続していく。 |
| 社会教育 | 生涯学習課 | 33 社会教育統括事業 | B | 改善 | B | 継続 | 社会教育の充実・向上を図るため、関係団体との連携が重要。また、社会教育主事などの専門知識を有する人材の確保が課題であることから、計画的な有資格者の配置を検討していきたい。平成28年度に一般会計より芸術文化振興基金会計へ繰入。事業周知を図り、寄附を募る取り組みを継続する。 |
| | 生涯学習課 | 34 審議会等事業 | B | 継続 | A | 継続 | 市民の代弁者である社会教育委員と協働で社会教育行政に取り組み、留萌市の社会教育の活性化に努める必要がある。平成28年度は、社会教育振興計画等の策定にあたり複数回の勉強会を行い、活発な議論により、意見を反映した。 |
| | 生涯学習課 | 35 成人式事業 | B | 継続 | B | 継続 | 人生の門出となる成人式は、対象者とその家族を含め、継続を望むニーズは高い。成人としての自覚や責任を再確認する場として継続が必要であり、アンケート結果において好評を得ている。 |
| | 生涯学習課 | 36 少年体験学習事業 | B | 改善 | B | 終了 | 異世代の子どもたちとの交流する体験は貴重なものであるが、一定の成果と目的を達成したため、事業は終了。 |
| | 生涯学習課 | 37 図書館統括事業 | A | 継続 | A | 継続 | 留萌管内図書館振興協議会総会及び研修会への参加等を通じ、指定管理者との連携を図り、サービス向上を図る。 |
| | 生涯学習課 | 38 図書館運営管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | 指定管理を導入したことにより、市民サービスの向上が図られており、アンケート結果においても高評価を得ている。今後も市民ニーズに対応したサービスを提供できるよう指定管理者と協議し、連携を図る必要がある。 |
| | 生涯学習課 | 39 【ゼロ予算】自然観察会事業 | A | 改善 | A | 継続 | 北海道留萌振興局との共催事業。幅広い年齢層の参加があり、季節ごとに自然を観察し、会員相互の交流や健康づくりに繋がった。 |
| | 生涯学習課 | 40 【ゼロ予算】生涯学習リーダーバンク事業 | B | 改善 | B | 改善 | 高齢化による登録者数の減少や新たに登録者を募るため、制度周知に努める必要がある。 |
| 芸術・文化 | 生涯学習課 | 41 芸術文化振興助成金 | A | 改善 | A | 改善 | 市民や団体等が自ら主体的に企画・運営・実施する事業や講演会・研修会等に対して助成。今後も市民の芸術文化の振興を図るため、継続する。 |
| | 生涯学習課 | 42 子どもたちの伝統文化体験事業 | A | 継続 | A | 継続 | 子どもたちの健全な育成のため、伝統文化や舞台芸術に直接触れる機会は貴重な経験であり、今後も事業を継続し、子どもたちの豊かな心や感性、想像力が育まれる機会を提供していく。 |
| | 生涯学習課 | 43 芸術文化振興助成金積立金 | B | 継続 | B | 継続 | 基金の運用益がほとんどない一方で、助成金等による基金会計からの繰入は毎年度増加していることから、所管においても留萌市応援寄附制度のPRが必要である。 |
| | 生涯学習課 | 44 文化賞事業 | B | 改善 | B | 終了 | 平成29年度より留萌市功労者表彰条例に定める「教育文化功労」表彰へ統合。 |
| | 生涯学習課 | 45 シンポジウム助成事業補助金 | | | A | 終了 | 音楽を通じた地域の活性化を目的に『音楽の底力』～音楽を通じたまちづくり～と題し、一般財団法人地方自治センターの助成金を活用し、まちづくりや教育などの各分野の専門家を招聘、パネルディスカッション及び記念コンサートを実施。ますます市民が音楽にふれあい、多くの市民が音楽合宿を受け入れる、おもてなしの心を醸成とともにまちの活性化に繋がった。 |

| 施策分類 (評価対象) | 課名 | 事務事業名 | H27評価 | | H28評価 | | 評価理由等 |
|----------------|-------|------------------------|-------|-----|-------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 成果 | 方向性 | 成果 | 方向性 | |
| 芸術・文化 | 生涯学習課 | 46 るもい音楽合宿誘致環境整備事業 | A | 終了 | A | 終了 | 留萌市応援寄附を受け、市民要望のあった事項を改善し、音楽合宿の環境整備に寄与できた。 |
| | 生涯学習課 | 47 【ゼロ予算】留萌市合宿誘致連携会議事業 | A | 継続 | A | 継続 | 留萌市で行われる音楽合宿やスポーツ合宿等の誘致促進にあたり、関係者相互の連携及び調整を行う会議の設置並びにその運営手続きについて必要な事項を定め、合宿等の誘致促進と円滑な受け入れを図ることを目的とする。 |
| | 生涯学習課 | 48 【ゼロ予算】若手芸術家発表事業 | | | A | 終了 | 子どもたちに舞台芸術にふれる機会を提供し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことにより、豊かな心や感性、創造性、コミュニケーション能力を育むことができた。今後も財源確保に努め、機会の提供に努める。 |
| スポーツ | 生涯学習課 | 49 スポーツ振興基金積立金 | C | 改善 | A | 継続 | 平成28年度に一般会計より基金会計へ繰り入れ。事業周知を図り、寄附を募る取り組みを継続する。 |
| | 生涯学習課 | 50 スポーツ振興助成金 | B | 改善 | A | 改善 | 市民や団体等が自ら主体的に企画・運営・実施する事業や講演会・研修会等に対して助成。今後も市民のスポーツ振興を図るため、継続する。 |
| | 生涯学習課 | 51 子どもの体力アップ推進事業委託料 | A | 改善 | A | 改善 | 子どもたちの体力・運動能力の向上を図るため、コーディネーショントレーニング学校派遣及びCOTを学ぶ会を実施。 |
| | 生涯学習課 | 52 スポーツ合宿可能性研究事業 | A | 継続 | A | 改善 | 交流試合や教室の実施などにより、留萌管内競技者の技術や指導技術の向上に有効な手段と考える。3年間の事業検証を踏まえ、誘致の拡大に向け、検討委員会の中で議論を進める。 |
| | 生涯学習課 | 53 【ゼロ予算】学校開放事業 | B | 継続 | B | 継続 | 学校校舎の有効利用を図り、市民の健康増進と体力向上に繋げる。 |
| 社会教育施設 | 生涯学習課 | 54 中央公民館等管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | 指定管理者の管理は市民から高い評価を得ている。今後も指定管理者と連携し指定管理事業の見直しを行い、更なる利用促進を図る必要がある。施設については、留萌市社会教育施設維持管理計画に基づき、計画的な修繕等を行う中で、新たな施設の検討に向け研究を進める。 |
| | 生涯学習課 | 55 中央公民館等トイレ改修工事 | | | A | 終了 | 施設利用者のニーズの高かった、トイレ改修工事を実施することで、利用者の安全性・快適性を高め、施設の利用促進に繋がった。 |
| | 生涯学習課 | 56 クロスカントリーコース整備事業 | B | 改善 | B | 改善 | 冬季スポーツの一つとしてクロスカントリースキーは効果的と考えている。利用者は、自衛隊や愛好者の利用が増えたが、さらなる利用者増加策についてスキー連盟や体協を含めた関係団体等との協議を行う必要がある。 |
| | 生涯学習課 | 57 スポーツセンター床等補修事業 | A | 継続 | A | 終了 | 経年劣化によるフロアの段差や亀裂の解消及び暖房器具の接続部分改修されたことで、利用者の安全性がより確かなものとなるほか、今後の合宿などの需要にも安全に対応できるものとする。 |
| | 生涯学習課 | 58 温水プール管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | H26年度から学校プール授業を主体に一部開設を実施。持続可能な運営方法等については、今後も検討を行う。 |
| 郷土文化・歴史 | 生涯学習課 | 59 五十嵐徳太郎物語作成事業 | | | A | 改善 | 偉大な先覚者『五十嵐徳太郎』を通して留萌の郷土の歴史を学ぶことができ、その成果は大きいものがあると考えている。今後も子ども達へ留萌の先人・偉人を紹介する事業に取り組む。 |
| | 生涯学習課 | 60 【ゼロ予算】るもい文化遺産の再発見事業 | B | 改善 | B | 改善 | ボランティア講師によるプログラム構成となっているため、講師の確保が課題となっている。 |
| | 生涯学習課 | 61 【ゼロ予算】出前解説「入門るもい学」 | B | 継続 | B | 継続 | 雨天時の代替プログラムとして海のふるさと館に訪れている学生等も多くニーズは高い。団体等からは解説について好評を得ており、繰り返し来館される団体も増えている。 |

| 施策分類 (評価対象) | 課名 | 事務事業名 | H27評価 | | H28評価 | | 評価理由等 |
|----------------|----------------------|----------------------|-------|-----|-------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| | | | 成果 | 方向性 | 成果 | 方向性 | |
| 文化財 | 生涯学習課 | 62 佐賀漁場管理事業 | B | 改善 | B | 改善 | 管理方法や消防設備等、改善を要する課題があるが、現行予算の効率的な運用により現状を保つための管理を継続しながら、施設の利活用を研究する。 |
| | 生涯学習課 | 63 旧佐賀家漁場母屋屋根補修事業 | / | / | A | 終了 | 暴風の影響を受け、緊急的な対応を行ったものであるが、迅速に対応を行い、史跡としての価値を保つことができたと考えている。 |
| ひとり親・寡婦・助産 | 子育て支援課 | 64 助産施設扶助費 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度で定められた内容に基づき、対象者の入院・助産に対し、適切な給付を行った。 |
| | 子育て支援課 | 65 母子福祉統括事業 | A | 継続 | A | 継続 | ひとり親家庭に対する相談支援技術等の向上を図るため、母子自立支援員の育成を図った。また、関係機関と連携し、ひとり親世帯の自立に向けた支援を行った。 |
| 子ども未来・少子化対策 | 子育て支援課 | 66 児童福祉統括事業 | A | 継続 | A | 終了 | 国の子育て政策の推進に伴う、児童福祉法等の制度改正などへの対応を適切に行った。H29からは子ども・子育て支援統括事業で本事業を実施する。 |
| | 子育て支援課 | 67 児童手当扶助費 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度で定められた内容に基づき、支給対象者に対して適正に手当の支給を行った。 |
| | 子育て支援課 | 68 児童手当支給事業 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度で定められた内容に基づき、支給対象者の適切な資格管理を行った。 |
| | 子育て支援課 | 69 児童扶養手当扶助費 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度で定められた内容に基づき、支給対象者に対して適正に手当の支給を行った。 |
| | 子育て支援課 | 70 児童扶養手当支給事業 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度で定められた内容に基づき、支給対象者の適切な資格管理を行った。 |
| | 子育て支援課 | 71 子ども・子育て支援統括事業 | A | 継続 | A | 継続 | 留守家庭児童会や延長保育の実施など、「留萌市子ども・子育て支援事業計画」に基づく子育て施策を推進した。 |
| | 子育て支援課 | 72 未熟児養育医療給付事業 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度で定められた内容に基づき、治療を必要とする未熟児に対し、適正な給付を行った。 |
| | 子育て支援課 | 73 子育て支援事業 | A | 継続 | A | 継続 | 男性の積極的育児参加を促す講習会の開催や母子保健担当部署、児童センターなどとの協力・連携により、子育て施策を推進した。 |
| | 子育て支援課 | 74 ファミリーサポートセンター支援事業 | A | 継続 | A | 継続 | まちなかに拠点を移して以降、利便性が向上し、利用者が増加しており、保護者の子育ての不安や負担感の軽減や仕事と子育ての両立の支援が図られた。 |
| | 子育て支援課 | 75 家庭児童相談室運営事業 | A | 継続 | A | 継続 | 様々な相談内容に対応できるよう家庭相談員の育成を図った。また、虐待等に関して関係機関と連携し、適切かつ迅速な対応を行った。 |
| | 子育て支援課 | 76 幼児言語治療教室設置事業 | A | 継続 | A | 継続 | 言語治療を必要とする幼児・児童に対し、切れ目のない支援を実施し、言語障がい教育の充実が図られた。 |
| 子育て支援課 | 77 母親クラブ活動費補助金 | A | 継続 | A | 継続 | 児童センター単位で組織されている母親クラブに対し、活動費を補助することにより、児童センターとの協力・連携による各種事業を展開し、児童の健全育成が図られた。 | |
| 子育て支援課 | 78 乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問事業 | A | 継続 | A | 継続 | 保健師との協力・連携により、子育て世帯の養育環境を把握し、子育て情報の提供や子育て相談を実施するなど、子育ての不安や孤立感を軽減するため、必要な養育支援を実施した。 | |
| 子育て支援課 | 79 留守家庭事業 | A | 継続 | A | 継続 | 放課後、留守になる学童に対し、適切な生活の場を提供し、児童の健全育成及び仕事と子育て支援の充実が図られた。 | |

| 施策分類 (評価対象) | 課名 | 事務事業名 | H27評価 | | H28評価 | | 評価理由等 |
|----------------|--------|---------------------------|-------|-----|-------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 成果 | 方向性 | 成果 | 方向性 | |
| 子ども未来・少子化対策 | 子育て支援課 | 80 留守家庭児童会施設整備事業 | / | / | A | 終了 | 東光小学校校区留守家庭児童会の児童受入拡大などの環境整備が図られ、児童の健全育成及び仕事と子育て支援の充実が図られた。 |
| | 子育て支援課 | 81 障害児養育支援事業委託料 | A | 継続 | A | 継続 | 児童センターに障がい児養育支援のための必要な指導員を配置することにより、円滑な受け入れ体制の確保が図られた。 |
| | 子育て支援課 | 82 児童館運営管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | 地域の子どもたちの活動拠点として、安心・安全な遊びの場を提供し、適切な遊びをを通じて児童の健全育成が図られた。 |
| 保育園 | 子育て支援課 | 83 留萌萌幼会助成事業(土地借上料) | A | 継続 | A | 継続 | 保育所の隣接地に園庭用の土地を確保することによって、保育園を利用する児童の安全性及び福祉向上が図られた。 |
| | 子育て支援課 | 84 保育士配置等補助金 | A | 継続 | A | 継続 | 障がい児や発達遅滞児への対応、国の基準を上回る保育士配置など、多様化する保育ニーズのに対応するために必要な支援を行うことによって、質の高い保育や保育所の安定的な運営が図られた。 |
| | 子育て支援課 | 85 児童福祉施設(保育所)管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度で定められた内容に基き、保育所利用に関する審査及び管理を適正かつ公平に行った。 |
| | 子育て支援課 | 86 児童福祉施設(保育所)運営事業 | A | 継続 | A | 継続 | 法制度等で定められた基準に基づき、保育所運営に係る経費を適正に給付した。 |
| 幼稚園 | 子育て支援課 | 87 私立幼稚園就園奨励費補助金 | A | 継続 | A | 継続 | 国の基準に準拠して本事業を実施することにより、幼稚園利用児童の保護者の経済的負担が軽減され、より多くの子どもたちが充実した幼児教育を受けられる環境整備が図られた。 |
| 青少年・健全育成 | 子育て支援課 | 88 青少年統括事業 | A | 継続 | A | 継続 | 青少年問題協議会において、青少年に関する事業、様々な問題に関して調査審議することにより、青少年健全育成への取組が推進された。 |
| | 子育て支援課 | 89 青少年健全育成事業 | A | 継続 | A | 継続 | 青少年健全育成推進員協会との協働を基本として、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境づくりが図られた。 |
| | 子育て支援課 | 90 優良青少年表彰事業 | A | 継続 | A | 継続 | 市内において模範となる行為を行った青少年を各種団体から幅広く推薦者を募り、表彰することによって、青少年育成活動の普及と認識を高めることができた。 |
| | 子育て支援課 | 91 非行防止事業 | A | 継続 | A | 継続 | 青少年育成センターが中心となって、青少年に関わる関係機関や地域における関係団体と連携し、祭典時の巡視など青少年の非行防止活動を行うことによって、青少年の健全育成が図られた。 |
| 幼児療育通園センター | 通園センター | 92 通園センター運営管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | ここ2～3年にかけて、療育環境の充実(指導員増、正職指導員配置、施設環境の向上等)に努めてきた。今後も多様化するニーズや利用増に対応できるよう環境整備に努めたい。 |
| | 通園センター | 93 留萌南部地域幼児療育推進協議会運営費補助金 | B | 継続 | B | 継続 | 3市町の関係機関・団体の貴重な情報交換、連絡調整、研修の場となっている。さらなる連携強化に努めたい。 |
| 学校給食 | 給食センター | 94 学校給食統括事業 | A | 継続 | A | 継続 | 安全・安心で美味しい学校給食を今後も安定的に供給する。 |
| | 給食センター | 95 給食センター運営管理事業 | A | 継続 | A | 継続 | 安全・安心で美味しい学校給食を今後も安定的に供給する。 |
| | 給食センター | 96 地元食材100%給食事業 | A | 終了 | A | 終了 | 留萌市応援基金の事業は平成27年度で終了し、今後は一般会計の中での事業を継続する。 |
| | 給食センター | 97 給食センター調理衛生環境等改善事業 | A | 継続 | A | 継続 | 平成26年11月に策定した計画に基づき、事業を着実に進める。 |
| | 給食センター | 98 給食センター屋根改修工事 | / | / | A | 終了 | 調理衛生環境改善及び調理機器更新計画に基づく屋根の葺き替え工事により、給食センターの安全安心な環境整備を図ることができた。 |
| | 給食センター | 99 【ゼロ予算】給食センター見学及び給食試食事業 | B | 改善 | B | 改善 | 学校給食への理解が広がる成果が大きい事業であるが、市民周知の方法に関し改善する必要がある。 |